

令和 6 年度漁期ニシン漁期後調査 速報 (1: 石狩地区)

令和 7 年 4 月 7 日に石狩湾漁協石狩地区において、青年部の皆さんによって漁期後調査が行われました。採集されたニシンを持ち帰り、生物測定を行いましたので、その結果を報告します。この調査は、**漁期後のニシンの来遊状況を調査**する目的があり、また、6 種類の目合 (1.6 寸、1.8 寸、2.0 寸、2.1 寸、2.2 寸、2.3 寸) の刺し網を用いてニシンが採集されるため、**漁獲物標本では得られない小型・若齢ニシンの来遊を確認**できる貴重な調査となっています (今年度、2.0 寸は未実施)。
※ 年齢および脊椎骨数の結果については標本処理、分析に時間を要するため、これらについては漁協青年部の方々には改めて結果をお送りします。

【調査結果】

1. ニシンの採集状況

調査漁具は、4 月 6 日に石狩湾新港近郊の水深 10 m 未満の海域に敷設され、7 日早朝に回収されました。漁獲されたニシンの概要については表 1 のとおりです。

表 1 ニシンの採集状況 (石狩地区)

	目合						合計
	1.6 寸	1.8 寸	2.0 寸	2.1 寸	2.2 寸	2.3 寸	
1 反当たり漁獲重量 (kg)	92.6	59.9		69.7	40.7	23.9	286.5
測定重量 (kg)	15.0	15.0	未	16.0	16.0	16.0	78.0
測定尾数	70	67	実	60	54	50	301
平均尾叉長 (mm)	275	274	施	292	304	311	289
平均重量 (g)	212	215		259	302	3251	257

2. 生物測定結果

採集されたニシンの年齢と尾叉長

すべての目合 (1 反当たり) で採集されたニシンを合計した尾叉長組成は、尾叉長 26~27 cm 台、そして 31~32 cm 台にピークがありました (図 1)。ピークの位置は昨年度と同様でした。

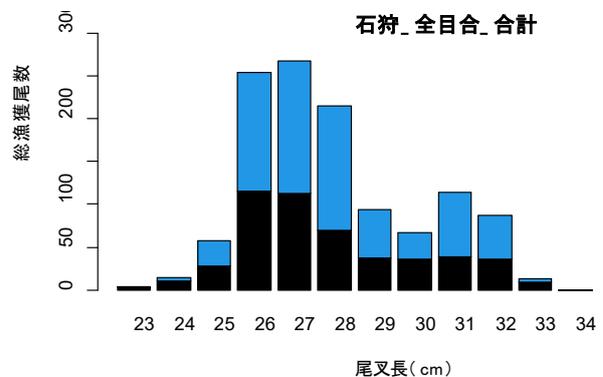


図 1 目合を込みにした雌雄別尾叉長組成
各目合、1 反当たりから換算してからの合算
黒：オス、青：メス

目合ごとにみると、1.6 寸と 1.8 寸では 26～27 cm にピークがあり、2.1 寸になると 28 cm にピークがあり、さらに 31 cm にも小さいピークがみられました。2.2 寸になると 31 cm のピークが主峰となり、28 cm に副峰がみられました。そして、2.3 寸では 32 cm にピークをもつ単峰型の組成となり、尾叉長 30 cm 未満の漁獲がかなり少なくなりました。

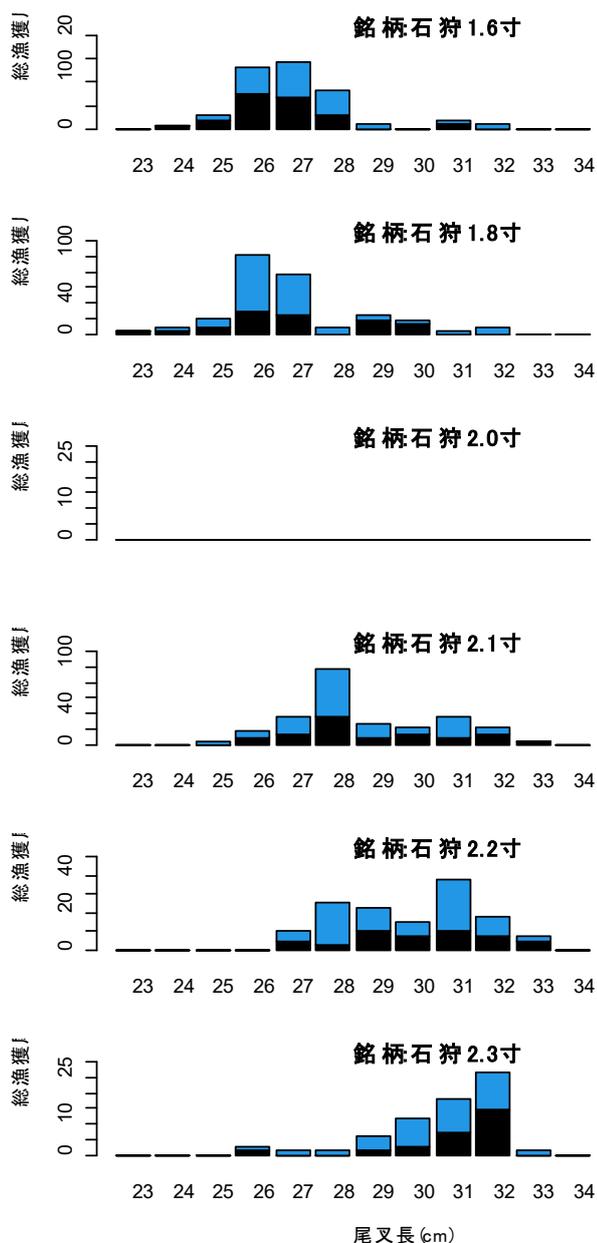


図1 目合を込みにした雌雄別尾叉長組成
各目合、1反当たりに換算した組成
黒：オス、青：メス

生殖巣の成熟状態について

生物測定を行った標本のうち、オスでは、114尾 (92%) がこれから産卵に参加しそうな成熟状態にあり (放精前)、9尾 (7%) は精巣が若干収縮しており産卵参加中の状態 (放精中)、1尾 (1%) が放精を終えた状態でした。

メスでは、3尾 (2%) の卵巣がまだ産卵まで時間がある状態で、174尾 (98%) の卵巣は完熟状態でした。産卵を終えた状態のメスはみられませんでした。このように、4月に入ってもまだ産卵前のニシン来遊が継続していることがわかります。

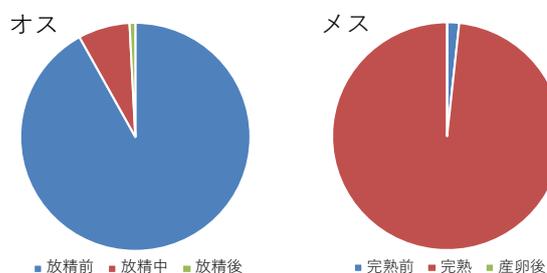


図3 標本の生殖巣の成熟状態